

吹奏楽フェスティバル

金沢区文化協会設立二周年記念



木下区長



鈴木会長



金沢区文化協会設立二周年記念
オール金沢吹奏楽フェスティバル
・文化協会と高校生クラブの集い

合同演奏

金沢区文化協会会報



金沢区文化協会
 編集人 岩瀬 昭二
 広報部長
 ☎ 701-0795
 発行人 森下 春陵
 会長
 ☎ 783-1025

平成八年十一月二十二日(祝)
 金沢公会堂で、金沢区文化協会と高校生クラブの集い「オール金沢吹奏楽フェスティバル」を二周年記念行事として開催しました。

これは当協会が、区内の高校吹奏楽部に呼びかけ、協会の所属団体とともに出演して、交流と理解を深めようと企画したものです。

今回の催しは金沢区役所の共催をいただき、木下金沢区長と鈴木金沢区町内会連合会会長のご祝辞も頂戴しました。



金沢高校

院六浦中学・高校
 横浜高校
 吹奏楽部
 と、ザ・バンド・オブ・サウス・ギミックス、アンサンブル金沢、金沢吹奏楽団の計

が披露されました。おかげで催しは大盛況となりました。特にラストで行われた高校生の合同演奏、マーチ「セカンド・センチメンリー」では、百名を超えての大合奏、まさに迫力満点で、惜しみない拍手が送られました。



関東学院
六浦中学・高校

六団体。各団体のステージでは、クラシック・ジャズ・ポップス・童謡・映画音楽などさまざまなジャンルの音楽



横浜高校

第8回



第八回区民文化祭の「区民の作品展」が、金沢地区センター体育館で、平成八年十月二十三日より二十七日まで開かれました。例年どおり書道・絵画・写真・手工芸・文芸部門を中心に作品を展示、多くの区民の方々が足を運んで下さいました。

会期前から掲示することで、かなりの効果があったと思われる。今年も文化協会コーナーを設けました。八年三月の金沢区伝

統芸能まつりを中心に、写真やプログラムを展示しました。又このときの舞台背景を飾った森章栄氏の8m×5mの八景の帰帆図も体育館の壁面に飾られ、その力作は観客にたいへんアピールしました。

また、毎回御好評をいただく海外技術者研修センター研修生の書道は、実にユニークで楽しいものでした。

参観者のアンケートで、いつもこの作品展のPR不足が指摘されるので、今年はその開催要項の色刷りカードを印刷し、各方面に配布したほか、地区センターの建物正面に、大きな布製の垂れ幕看板(写真)を下げました。



各方面に配布したほか、地区センターの建物正面に、大きな布製の垂れ幕看板(写真)を下げました。

森下会長 表彰される

県文化団体連盟

平成九年二月十五日、座間市立市民文化会館において、神奈川県文化団体連盟の創立三十周年記念第二十七回神奈川県文化振興座間大会が盛大に行われました。

落成間もない立派な会場に、県文化団体の役員をはじめ国會議員・文化庁・県庁より来賓が出席された壇上で、文化振興に尽力された団体・個人が表彰されました。当協会会長森下春陵氏もその榮譽を受けました。金沢区書道連盟の育成と多年の貢献、金沢区文化協会の設立と、会長としてその運営に努力されたことが表彰対象となりました。



落成間もない立派な会場に、県文化団体の役員をはじめ国會議員・文化庁・県庁より来賓が出席された壇上で、文化振興に尽力された団体・個人が表彰されました。当協会会長森下春陵氏もその榮譽を受けました。金沢区書道連盟の育成と多年の貢献、金沢区文化協会の設立と、会長としてその運営に努力されたことが表彰対象となりました。

賛助会員芳名簿 (アイウエオ順)

あさひ銀行

金沢文庫支店

金沢臨海サービス

関東学院大学

湘南信用金庫

金沢支店

書道春秋社

住友銀行

金沢文庫支店

(有)高松写真商会

東急車輛製造

(株)東洋信号通信社

印刷事業部

横浜銀行金沢支店

写真部

個人会員に横のつながり

文化協会の個人会員は、団体会員のような横のつながりが少なく、折角文化協会に加入したが、名前も顔もよく判らないというのが現状のようです。

このような状態を変えたいと写真部の石渡信男・加藤千之輔両氏が個人会員に呼びかけ、昨年九月二十一日に初会合を持ちました。参加者は七名でしたが、写真談議に花が咲き、以来毎月一回この会を開くことにし、第三土曜夜地区センターで続けて

おります。二月の参加者は十三名に達し、一月からは岩瀬理事も同席し意志の疎通を図っており、定着しつつあります。

個人会員は発表の機会が少ないので、最初の行事として四月二十二日(火)より二十七日(日)まで、金沢地区センターロビーで写真展を開くことにしました。会員の方々のご来場をお待ちしています。

(問合せ 七八二一六六九八 石渡まで)



古典舞踊の世界お披露目

「金沢区日本舞踊連盟」初公演

横浜市 横濱区に誕生した「金沢区日本舞踊連盟」の第一回公演が、昨年十二月八日金沢公会堂で開かれ、文化協会

森下会長も祝辞を述べました。協会理事西川舞寿美さんが中心になり、伝統ある古典舞踊の各流派が参集し、昨年四月に「連盟」を結成し、地域に密着した活動をすすめることを目標にしています。研修会などを通して踊りに磨きをかける一方、交流も深めていくとのこと。

この日は「藤娘」「屋敷娘」など二十の演目が披露され、琴や三味線に合わせたあでやかな舞に大きな拍手が送られました。

理事会だより

- 9・11 吹奏楽フェスティバル出演者合同会議の報告、フィナーレに合同演奏を追加する。区民文化祭作品展のレイアウト検討、文化協会コーナーを設ける。美術関係理事が交代で会場に常駐。
- 10・9 吹奏楽フェスティバル準備状況報告と役割分担について、プログラム発送。区内の全町内会長にも招待状発送となる。文化祭作品展のレイアウト決定。
- 11・15 吹奏楽フェスティバルでタウンTV取材。区長・連長の祝辞決定、区民の作品展報告、文化会館建設の陳情書の内容が音楽ホールに片寄りすぎ、ギャラリーにもウエイトをおく。修正して区長に提出の予定。
- 9・1・22 長浜ホールが5月に開場となる。記念セレモニーは文化協会担当が多い。神奈川県文化団体連盟30周年記念大会で森下会長が功労者として表彰が決定。総会の日程検討、理事の選出方法も検討。
- 2・3 (音楽・美術部門理事のみ) 長浜ホールの文化協会主催行事として邦楽・洋楽・文化講演会・吹奏楽・美術展を行う。担当理事決定。出演交渉一任。
- 2・18 前回の交渉の内容経過報告。プログラム作成、長浜ホールの下見を4・22に行う。

会員アラカルト

- 文化協会写真部主催で第2回「私たちの金沢写真展」が8・9・2・6まで区役所区民ホールで開かれた。昨年の第1回が好評でした。今年も57点の出点があり、一六〇〇人の方々が参観され、読売新聞 9月5日「街」に掲載された。
- 10・15 金沢書道協会主催で海外研修生の書道教室が開かれた。毎年行われその作品は文化祭に出品され好評を博している。(於海外研修センター)
- 10・20 長谷川克巳理事の母堂が逝去された。慎んでご冥福を祈ります。
- 金沢まつり花火大会写真コンテストの発表が12月にあり、加藤千之輔さんが昨年に引き続き入選。金沢フォトクラブの秦鞏・鈴木晃徳・長野弥一・池田喜行の四氏が佳作に選ばれた。
- 悠心陶芸クラブの「円通寺客殿」(八景駅前の茅葺の家)が、1月横濱市の歴史的建造物に指定されました。
- 朝日新聞アドバンス1月前半号「まちのサークル」に金沢吹奏楽団が載り、代表長谷川克巳氏と結成35年の歴史が紹介された。
- 三曲会主催で小学校邦楽観賞公演が1・23 釜利谷東小 2・5 小田小 2・20 瀬ヶ崎小で行われた。これは小学生に琴や尺八・三味線に触れ親しんでもらうのが目的である。
- 金沢吹奏楽団第27回定期演奏会2・9 金沢公会堂で行われた。

会員プロフィール ④

高久順子(絵画)

人口二〇万を超え大きな市に匹敵する金沢区。絵画や書道を志す人達も多く、向上のための批評や評価が有り、誰でも自由に出品出来る発表の場(市展のような催し)が出来ないものだろうかと思えます。夢でしょうか。

田村敬子(器楽)

子育て真っ最中の為、自分の活動は思うようになりませんが、文化協会の皆様の活動を楽しみに、又励みとさせて頂いております。さて、クラシックの一般会員による発表の場があったら良いのになあと、常々思っております。

島中瑠璃(茶道)

葛ノ葉会は、昭和四十五年片吹団地の婦人部活動の中で、読書会として発足しました。会員は十五名、会費は月五百円で毎月二冊位の本を回覧しております。

年間行事として、ハイキングや史跡見学会などの他、金沢高校の池田高重先生にお願いして勉強会をしております。

加藤千之輔(写真)

第二の人生を迎えたのを機に、これ迄の写真と映像に携わってきた経験を趣味に代えて、同好の志との交流をもち、各自が持つ知識を出し合い、それを糧とし、育みあえれば、と言うのが写真部門入会の動機でした。

文化協会設立以後、規約第三条の「会員相互の交流と連絡協調を図る」こともなく半年が過ぎ、九月にやっと初の「私たちの金沢」写真展ではじめて数人の会員と知り合えた次第です。

昨年九月の第二回展までの一年間も、第四条にある「会員相互の交流」も全くないままで、十九

名に増えた個人会員もお互いに殆んど知らない有様でした。しかし僅かに知りえた人の間でこの状態をなんとか打開し、真のあり方「相互の交流」を計ろうと、以来月一回の会合を持つに至りました。

個人会員に共通する意識は、組織されたクラブに属さず「我が道を行きたい」人が多く、作品製作には個々に深い熱意を傾けています。

一月の会では個人会員による初の有志展実施が決まりました。皆が持てる力を出し合い、相互の和によって成功に導くことができれば……と願っています。ご高覧頂ければ幸いです。

写真部個人会員有志展

会場 金沢地区センター 二階ロビー

会期 四月二十二日(火)～四月二十七日(日)

時間 午前十時～午後四時三十分

問合せ 加藤千之輔 ☎(七八三)九七三二

木村久子(洋舞)

金沢区文化協会の個人会員に登録して二年が過ぎました。私は現在ハワイの民族舞踊の勉強をしております。金沢区は海に面し、その海はハワイに続いています。ハワイの文化の心は、自然・愛・豊かさです。その心を会員の皆様と分かち、そして色々な分野の方たちと刺激しあい、向上出来る協会でありたいと思えます。

花を造る

佐藤邦子(手芸)

造る楽しさや、お仲間づくりにお役に立てればと思いい、個人会員として入会いたしました。輸入や設備の発達により四季を問わず花が手に入る昨今ですが、和紙など各種の紙で、草花を表現し、ブーケやコサージュにアレンジして楽しんでおります。会の発展を望みます。

杵屋勝千世(邦楽)

私は長唄で個人会員になっていました。活動としては、自宅での稽古、友人と東京茅場町証券ホールで勉強と演奏会を開いています。

六年前まで住んでいました目黒区では、区邦楽連盟に参加、活動して参りました。金沢区においても、皆様に長唄及び三味線の音色の美しさを知っていただきたいと願っております。

滝沢洋子(手芸)

鎌倉彫を始めて何十年、こんなに長くやるとは思いませんでしたが、その魅力にひかれて参りました。横浜信用金庫や翠風荘福祉センターでお稽古しております。伝統的工芸品としての鎌倉彫を、未熟乍らも皆様と一緒に作っていかれることを、本当に幸せだと思えます。彫りの難しさや塗りの難しさも出来上がった時の喜びは格別です。自分の作った物を、皆様に使ってもらって、身近において頂くのも喜びです。人生の生き甲斐の為に、お心のある方は挑戦してみませんか。

原勝彦(写真)

金沢区・横浜・三浦半島と身近に素晴らしい被写体がありながら、見慣れたものは作品に出来ず、遠方に出掛けてしまいます。一月は夜明けの富士山・江の島の寒中御興、二月は雪の白川郷・臨海副都心へと撮影に出掛けました。

「ロマンダーに出会って」

石津良子(手芸)

飽きやすい私が、お人形に魅せられて丸十八年、愛らしく心が和むお人形、可憐で優美なお人形作りを心がけ、そんなお人形製作の充実感、そして出会った時の幸福感、いくつになっても小さな事に心ときめかすメルヘンを失わず、いつまでもロマンダー作りを続けて行きたいと思っております。本当に人形作りに携わっていて良かった。きつと生涯の友ですね。

文化協会会員となって

中尾早苗(邦楽)

文化協会設立を広報で知り、金沢区に是非ほしいとかねがね望んでいた私は、喜んですぐに入会いたしました。あれから二年、個人会員として文化面でのいろいろな方々との交流・意見交換・親睦など期待して、ずっと待っていました。が、なにもお知らせがなく、非常に残念に思います。私の会費はごく一部の方の活動資金への寄付となっていましたのでしようか。

二年は会の基礎充実に必要があったでしょうが、今後は会員一人一人のことを考えた活動を考えて下さり、活気ある協会になるように。例えば部会ごとの交流会(個人会員も含めて)を開き、会報で内容を披露し合うとか——会報も年三〜四回は発行が望まれる——どんな活動を今後にするか、などの案を相談したりして、多くの方々に参加して頂く、開かれた会にしたいだけではないでしょうか。

個人会員の活躍や要望について、名簿の中から任意に呼びかけ、以上のように多数の投稿をいただきました。深謝とともに若干の割愛をお許し下さい。(担当 吉澤政晴)

編集後記

「しおさい」第四号をお届けします。春といえばスプリング、心弾ませて活躍する会員の姿が目には浮かぶようです。会員アラカルト(会員動静)を左記までハガキでお送り下さい。

金沢区金谷東3-21-6

岩瀬昭二宛

集員 岩瀬昭二・田野諒・森川淳子
編委 佐野史瑞子・吉澤政晴